



KUIK III

使用説明書 日本語V1.0

警告！いかなる目的のためにも本マニュアルを複製、送信、流布、ダウンロード、媒体へ保存することを禁じます。



有限会社エアハート コーポレーション
〒125-0035東京都葛飾区南水元2-26-11
Bell Wood bldg.101号室
TEL:090-4735-6585
WEB:[https:// www.airheart.jp](https://www.airheart.jp)
E-mail:info@airheart.jp



はじめに	3	注意事項	29
注意事項	4	保証	30
パラグライダーに関する注意事項：	4	テクニカルデータ	31
パラグライダー用ハーネスに関する特別な注意事項：		サイズ・ガイド	32
外観		追加情報	33
ハーネスの準備	11		
セッティング			
アクセサリー			
リザーブパラシュートの取り付け			
バックプロテクション			
テイクオフの準備	21		
チェックリスト			
ハーネスの接続			
安全な飛行	23		
テイクオフ			
飛行中			
スピードバーの使用			
リザーブパラシュートの使用			
ランディング			
使用上の制限	26		
メンテナンス、お手入れと修理	27		



情報 ...



注意



危険 !!!

はじめに

この度はKORTEL DESIGNハーネスのご購入、誠にありがとうございます！

KORTEL DESIGNハーネスをお選びいただき、また弊社に信頼を寄せていただき、誠にありがとうございます。

1999年以来、私たちは細部にまでこだわった製品を設計・開発し、その名声を世界中に広めてきました。快適性、効率性、革新性、そして品質は、製品の設計から納品に至るまで、私たちの創業基準です。

KORTEL DESIGNは、お客様のニーズに耳を傾け、常に革新的でお客様の練習に適応した最高品質の製品を提供するために団結した情熱的なチームです。ハッピーなパラグライダーたちのためにデザインされた、高度にテクニカルな製品です！



この取扱説明書は、製品の重要な一部です。必ずお読みください。本書には、ハーネスの初飛行の準備に必要な情報、その他多くの重要な安全性、お手入れ方法、メンテナンス方法が記載されています。

KORTEL DESIGNは、お客様に最高のサービスを提供するために、訓練を受けた販売店のネットワークを活用しています。

ウェブサイトでは、販売店の全リストのほか、商品の詳細情報を掲載した追加写真や説明フィルムもご覧いただけます。



本書およびウェブサイト上の情報は、ディーラーやインストラクターのアドバイスに代わるものではありません。

注意事項



パラグライダーに関する注意事項：

パラグライダーの練習には、事前の特別なトレーニングと、装備に関する最低限の知識が必要です。各パイロットは責任を持って行動し、有効な規則（ライセンス／保険）を遵守しなければなりません。すべてのパイロットは天候を正しく判断できなければなりません。また、パイロットの飛行レベルは、使用している機材の要件に適合していなければなりません。パイロットはまた、自然環境や景観を含む環境に注意を払う責任があります。

私たちは自然環境の中で活動しており、動植物に最大限の敬意を払うことが不可欠です！

特に離陸時には、山の生態系における繊細な生物バランスを尊重してください！また、特に離陸時には、繊細な生態系のバランスを尊重しましょう。

喫煙者は、タバコの吸殻を持ち帰り、道具の近くでの喫煙は避けてください。

適切なヘルメットの着用、適切な靴と衣服の着用、予備パラシュートの携帯は不可欠です。各フライトの前に、パイロットはフライト装備の全ての部分に損傷がないかチェックし、離陸可能かどうか確認しなければなりません。さらに、各フライトの前には、完全なブレランチチェックを行わなくてはなりません。

各パイロットはパラグライダーの練習に関して全責任を負い、怪我や死亡を含むすべての内在的リスクを受け入れます。メーカーも販売店もパイロットの安全を保証することはできません。したがって、いかなる問題に対しても責任を負うことはできません。

パラグライダー用ハーネスに関する特別な注意事項：

このハーネスと関連アクセサリーのデザインは、パラグライディングのために開発されたものです。

全体的なデザインは、パラグライディングの練習とその使用の枠組み（レギュレーション、基準）に適合した素材と付属品で構成されています。

本ハーネスの承認は、パラグライダーというスポーツにのみ適用されます。いかなる誤用も使用者の自己責任であり、事故が発生した場合、製造者は責任を負いません。

パラグライダー用ハーネスの選択は、練習のタイプ（コンペティション、アクロバット、ハイキング&フライなど）やパイロットの経験レベルに合わせて行わなければなりません。不適切なハーネスを使用すると、事故や怪我の危険性があります。

ハーネスの調整は、最初のフライトの前に少なくとも一度はガントリで行ってください。これらの調整はパラグライダーの快適性と飛行挙動に直接影響します。不適切または不正確な調整は、事故や怪我の原因になることがあります。

パラグライダー用ハーネスに装備されているバックプロテクション（フォームパッド、エアパッド、ハイブリッド）は、低強度の衝撃（テイクオフやランディングの失敗、低空からの落下）の際にパイロットの身体に伝わる衝撃波を制限します。

どのプロテクターも、怪我、特に脊椎の怪我を完全に防ぐことはできません。プロテクターで覆われている部分のみが衝撃から保護されます。改造や誤用は、背面プロテクターの性能を危険なほど低下させます。

激しい衝撃を受けた場合は、デバイスの完全性を確認し、疑問がある場合は遠慮なくメーカーにお問い合わせください。

プレゼンテーション

Kuik IIIは多目的レジャー用ハーネスで、サイトパイロット、クロスカントリーパイロットやアマチュアハイカーのためにデザインされています。収納ポケットが豊富なので、ビバークでのフライトを学ぶこともできます。

快適!
3D成型されたシートデザインは、このタイプのハーネスとしては非常に快適で、長時間のフライトでも痛みを感じることはありません。大腿部に2つのループを備えたシートは、完璧なレッグサポートを提供します。

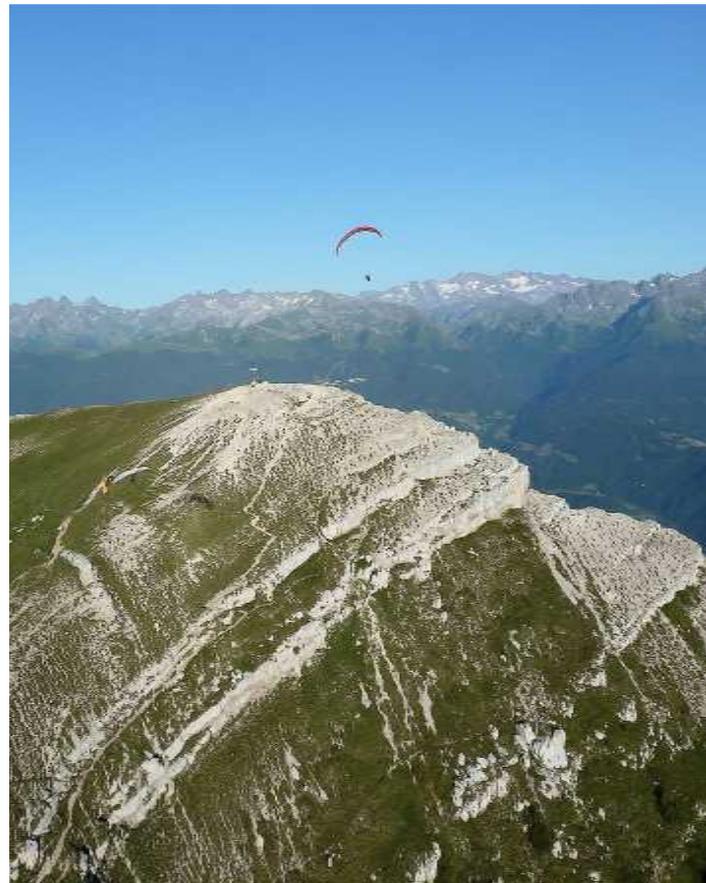
効率的!
フレームの形状は、効率的で直感的な操縦性を維持しながら、空気塊の情報を正確に伝達するために研究されています。

リバーシブル!
最新世代のリバーシブル・エアバッグを搭載し、裏返すだけで快適なキャリーバッグに早変わり。

進化論!
もっと遠くへ行きたい? 取り外し可能なコクーン (オプション) は、Kuik IIIをクロスカントリーハーネスに変身させます。レスキューコンテナを装備し、新たな地平線を切り開くための完璧なハーネスです。



バックポケットには、各種ホモロゲーション・テスト (EN / LTF / CE) 適合ラベルが入っています。このラベルがない場合は、ハーネスを使用せず、できるだけ早く弊社までご連絡ください。



プレゼンテーション

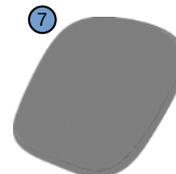
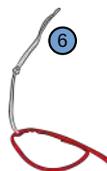
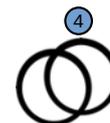
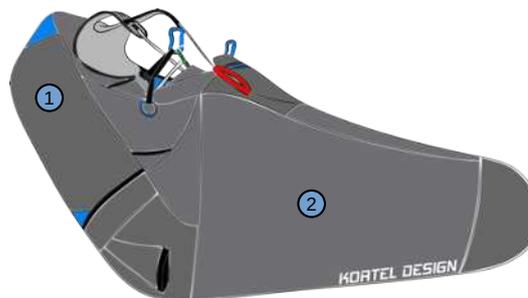
製品概要

ハーネスがお手元に届きましたら、販売店に部品の欠品がないことをご確認ください。

- ① リバーシブルエアバッグ付きハーネス
- ② コクーン
- ③ オートカラбина 20mm
- ④ Oリングシール
- ⑤ アクセラレーター 2本
- ⑥ エマージェンシー・ハンドル
- ⑦ カーボンプレート

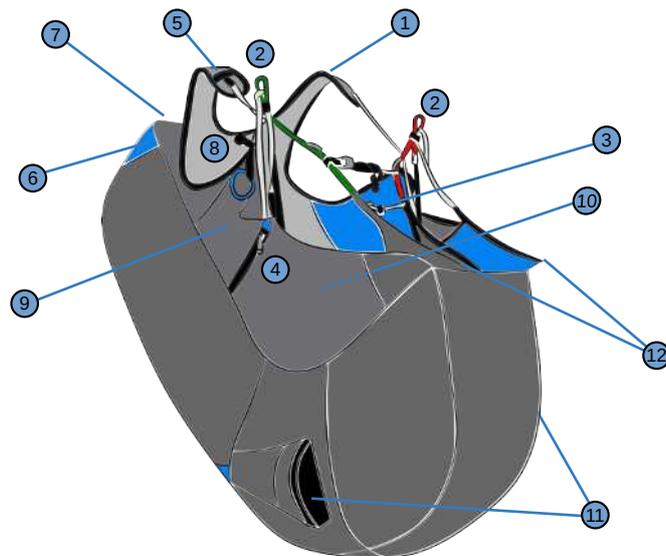
構成 KUIK III コクーン：

- リバーシブルエアバッグ内蔵ハーネス1
- コクーン1
- エマージェンシーハンドル1
- コルテル20mmオートカラбина2
- Oリング2
- アクセル1フレキシブル・バー 3
- ハンガーカット1
- ホイッスル1
- カーボンプレート1



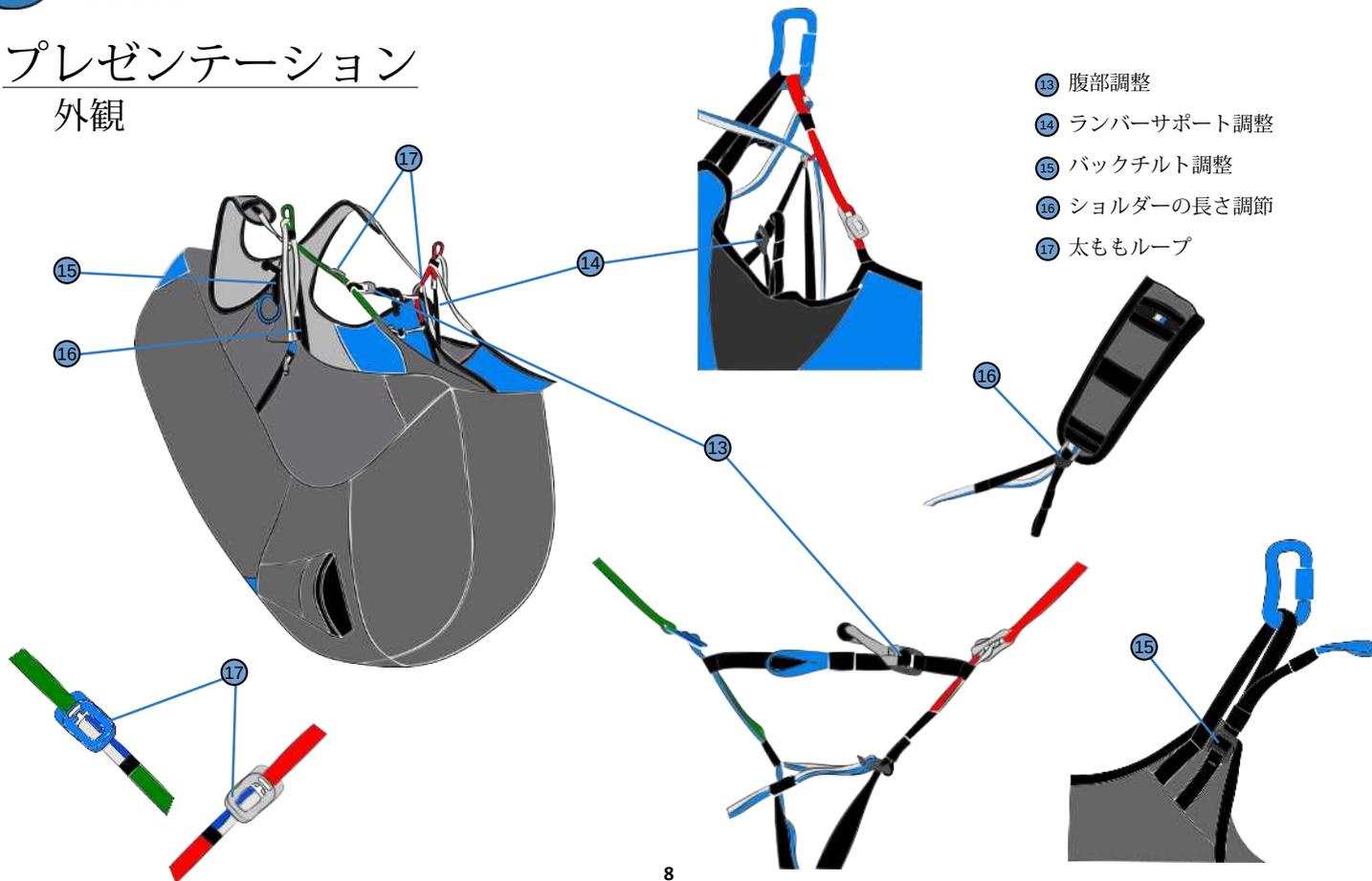
プレゼンテーション

外観



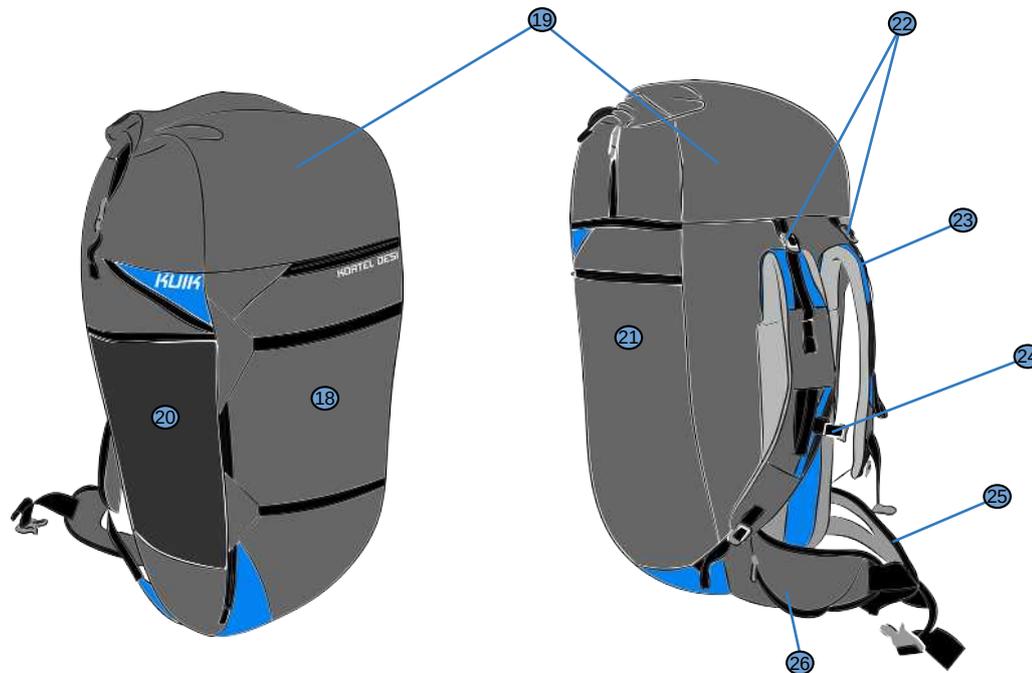
- ① サスペンション・シース
- ② 取り付けポイント
- ③ コンフォート調整/ダンピング
- ④ サイドポケット (x2)
- ⑤ ショルダー用ベルクロ、ソーラーパリオ用
- ⑥ リキパック
- ⑦ メインポケット
- ⑧ 人間工学に基づいた包み込むような背面。3D成型構造
- ⑨ 緊急リフトガイド、ショルダー接続用
- ⑩ アクセラレーター通路
- ⑪ サイド・エアバッグ・スクープ
- ⑫ フットプレート接続フック

プレゼンテーション
外観



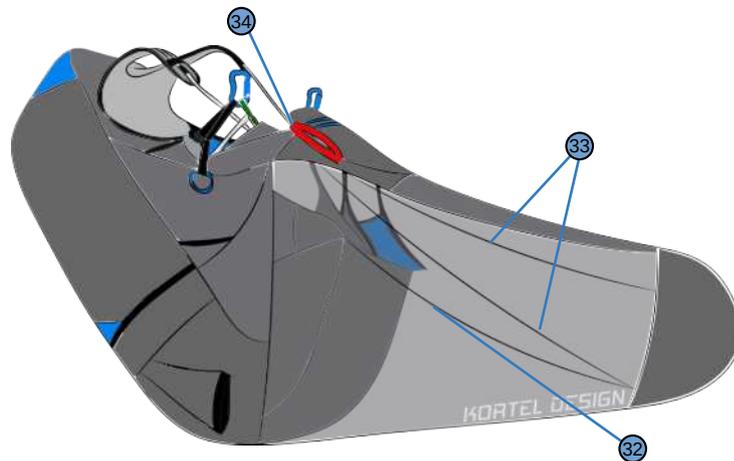
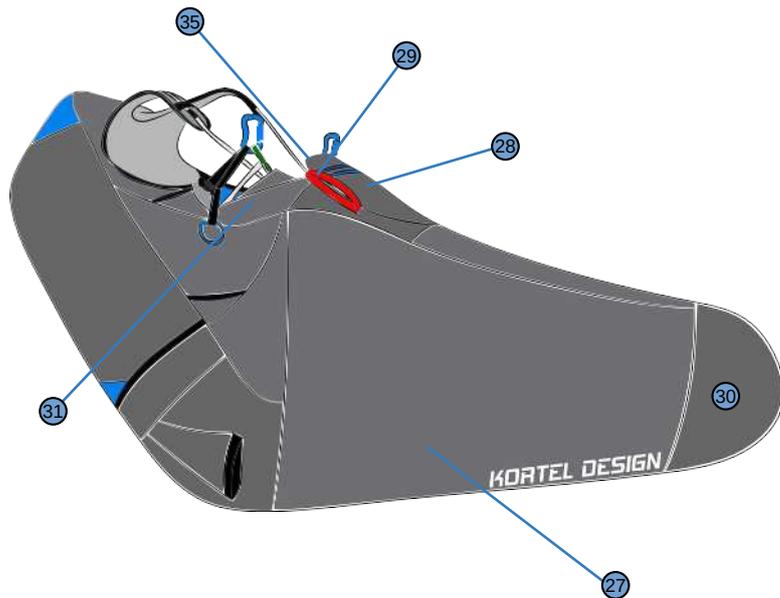
プレゼンテーション

外観



- ⑱ メインポケット
- ⑲ トップポケット
- ⑳ 伸縮性サイドポケット
- ㉑ サイドジップポケット
- ㉒ 充電リマインダー
- ㉓ ショルダーストラップ
- ㉔ チェストストラップ
- ㉕ 腹部ストラップ
- ㉖ ベルトポケット

プレゼンテーション
外観



- ②⑦ コクーン
- ②⑧ 一体型レスキューコンテナ
- ②⑨ サイドエマージェンシーハンドル
- ③⑩ インフレーター・コクーン・ノーズ
- ③① 緊急リフトガイド
- ③② 調整用ストラップ
- ③③ 高さ調整ストラップ
- ③④ 外部バッテリーポケット
- ③⑤ コックピット

ハーネスの準備

セッティング

初フライトの前に、販売店と一緒にガントリーの下で最初の調整を行うことが不可欠です。ロールを見ることができるガントリーは、各調整の効果を実感する上でプラスとなります。ハーネスには4つの独立した調整エレメントがあり、最適な快適性と操縦効率を得ることができます。

ショルダーの調整：

ショルダーストラップは、離陸時にハーネスを持ち運び、空中でのパイロットの傾きを制限し、ヘッドダウン"フライト"の際のパイロットの落下を防ぎ、リザーブパラシュート下でのフライトの際にパイロットをサポートします。ガントリー内でハーネスの着脱が問題なく行えることを確認した後、空中でより快適なサポートを得るために肩の調節が必要になることがあります。離着陸時および空中での肩の可動性を維持するため、密着させることをお勧めします。

背中の調整：

背中の調節ストラップはパイロットの背中の傾きを調節します。背中の傾斜が強すぎると、フライトが不快になったり（視界が悪くなる）、着陸時にハーネスから出にくくなります。きつすぎると離陸後にハーネスに乗り込むのが難しくなります。

メインポケットやバラストの重量に応じて、この設定を空中で変更し、ハーネスとパイロットアSEMBリーのバランスを調整することができます。

ランバーサポートの調整：

この調整により、パイロットの腰椎のサポートが完璧に維持され、長時間のフライトでも最適な快適性を得ることができます。このサポートにより、座った状態でも横になった状態でもハーネスの人間工学に基づいた調整が可能です。

腹部の調整：

腹部ストラップの調整により、メインアタッチメントポイント間の距離を調整することができます。メインアタッチメントポイント間の距離は、使用するグライダーのメーカー仕様に従ってください。適切でない距離はグライダーの挙動に直接影響を与えます。このセッティングの動作はハーネスの安定性に影響を与えます：締め付けるとハーネスが束縛されやすくなり、緩めるとハーネスがより生き生きとした性格を持つようになります。



設定しますと、快適性だけでなく、航空機の操縦にも直接影響します。離陸前には特に注意が必要です。



このハーネスはすべての設定にアクセスでき、空中で変更することができます。

ハーネスの準備

セッティング

コクーンの調整：（装備されている場合）
適切に調整されたコクーンは、フライト中、無理なく足をまっすぐに保ちます。設定が短すぎるとパイロットはコクーンを無理に張らなければならない、長すぎると快適なサポートが得られません。どちらの場合も、パイロットは脚をまっすぐに保つために不必要なエネルギーを費やすことになります。ブルーのストラップは、お好みに合わせて上部と下部の長さを別々に調節することができます。



最適なコクーン調節を得るためには、異なるストラップの長さを調整するために数回のフライトが必要な場合があります。パイロットの姿勢やポスチャーは、ガントリーと実際の空中での状況で異なる場合があります。

コネクター：

ハーネスには特別に調整されたオートマチック・カラビナが装備されています。このカラビナは底辺が狭いため、ハーネスの構造用ストラップを最適に配置し、荷重を適切に分散させることができます。ウェビングストラップがハーネスを不意に開いてしまうのを防ぐため、ロックカラーをハーネスの前方に配置することをお勧めします。これにより、ライザーの取り付けも容易になります。コネクターを開くには、ロックカラーを $\frac{1}{4}$ 回転させ、指で押し下げてください。

独自のオフセンター開口部により開口部が広く、あらゆるタイプのライザーの取り付けが容易です。コネクターを交換する際には、コネクターを賢く選ぶことが重要です。コネクターのサイズと形状は、ハーネスのコネクティングストラップとグライダーのライザーに適合していなければなりません。



ジックラル製自動カラビナに関する現在の知識では、5年ごと、または500時間の使用で交換することが推奨されています。



カラビナを操作するたびに、きちんとロックされていることを確認することが重要です。疑わしい場合は、操作を繰り返してください。



2400daN以上の抵抗値を持つコネクターの使用を推奨します。フレキシブルコネクターは、25mm以上の幅のストラップには使用しないでください。



ハーネスの準備

アクセサリー

フットレストの取り付け：

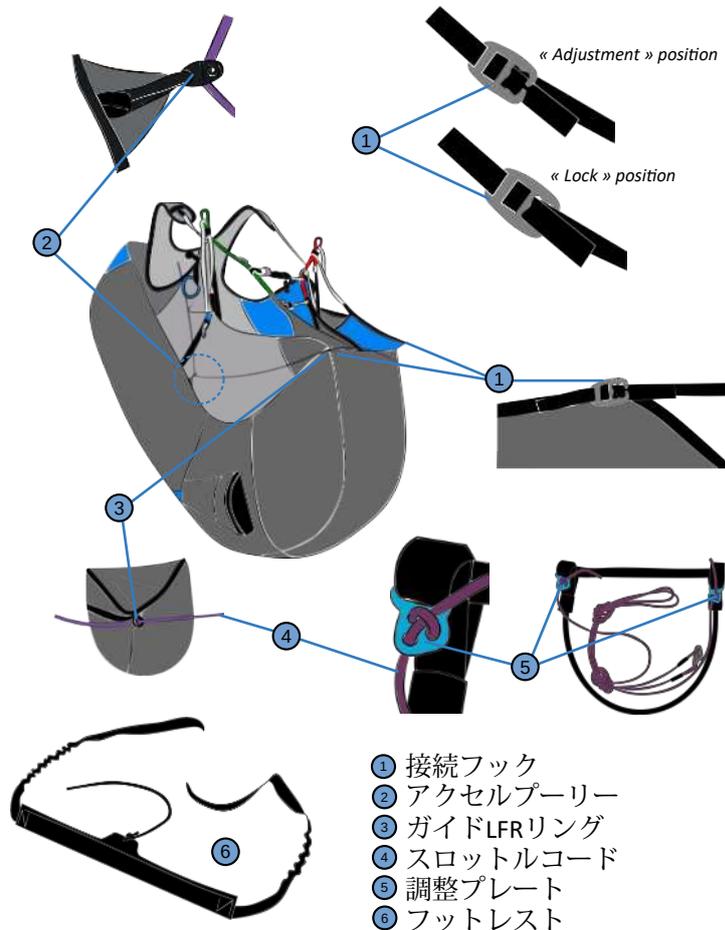
フットレストは他のモデルと共通です。取り付けは、メインストラップをハーネスの両腿端にある金属製フックに通すだけです。このフックは、フットレストの長さを調節するためにも使われます。適切な長さが決まったら、ストラップをフックに通してバックルをロックします。

スピードバーの取り付け：

スピードバーの取り付けは、ハーネス側面のプーリーにコードを通し、カバーの下に挿入して、最後に小さなガイドLFRリングに通すだけです。スピードバーは、付属のゴムを使って結び目を作るだけでフットストラップに接続できます。スピードバーは、スピードバー上の調整プレートで調整します。最適な設定にすることで、足を伸ばした状態でセカンドバーを押ししたときに、グライダーの全可動域を利用することができます。



スピードバーは短く設定してはいけません。パイロットが自主的にスピードバーを操作しなければ、グライダーがアクセル位置にならないようにしてください。



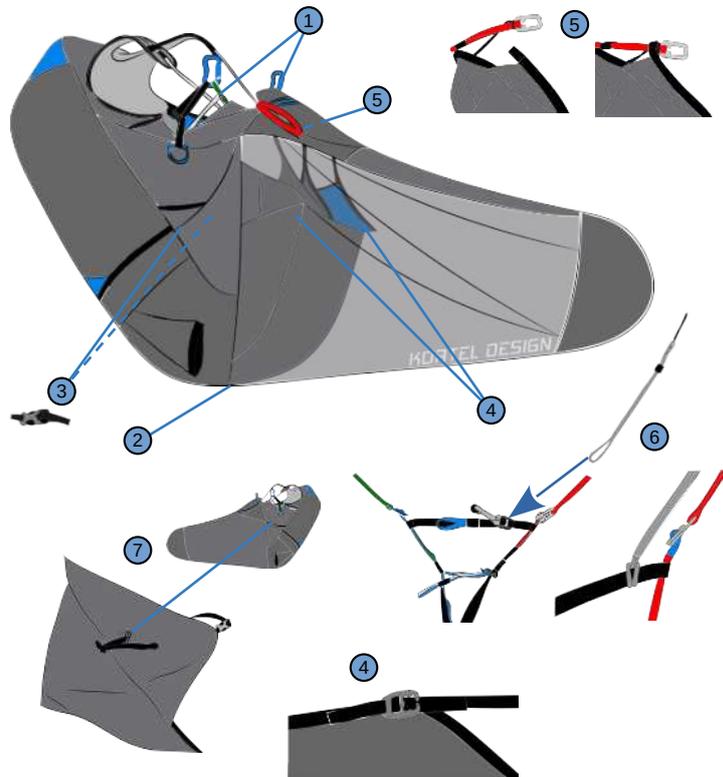
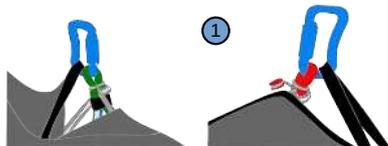
ハーネスの準備

アクセサリ

コクーンマウント：

コクーンはKuik IIIにフィットするよう特別にデザインされています。ハーネスへの取り付けは、完璧なデザインと仕上げを保ちながら、できる限りシンプルになるように考えられています。必要に応じてフットレストを取り外してください。組み立ては以下の手順で行います：

- ダイニーマのループをアンカーポイントに接続します。①
- ハーネスの下のジッパーを接続します。②
- 両サイドのプラスチッククリップを接続します。③
- コクーンを調整するための下部ストラップを、フレームの太もも前部にある金属製フックにはめ込みます。④
- コクーンのゴムループを左の太もものストラップに通します。⑤
- 滑り止めを前面ストラップに接続します。⑥
- ハーネスにあるクロージングクリップをコクーンの専用開口部に通します。⑦



コクーンの長さはこのフックで調節できます。適切な長さが決まったら、ストラップをフックに通してバックルをロックします。(「フットレストの取り付け」参照)。

ハーネスの準備

リザーブパラシュートの取り付け



警告



リザーブパラシュートの装着は、決して軽微な作業ではありません。有資格者によって、厳格に実施されなければなりません。最初の取り付けを確認するためには、ポータルエクストラクションテストを行い、パラシュートを取り出す際に邪魔になる要素がないことを確認する必要があります。このテストは、パイロットが飛行中と同じようにハーネスに装着し、パイロット自身が実施しなければなりません。リザーブパラシュートのメンテナンスと整備は、製造元の推奨に従って行ってください。

KUIK III: 基本編

KUIK IIIの基本バージョンにはレスキューコンテナは装備されていません。リザーブパラシュートを持ち運ぶには、取り外し可能なベリーコンテナを追加する必要があります。このタイプのハーネスには、特に「コンテナ・コックピット」の使用をお勧めします。KUIK IIIにはレスキューライザー用のガイドスリーブが装備されており、ベリーコンテナを使用する場合でも、肩の高さでレスキューライザーを接続することができます。



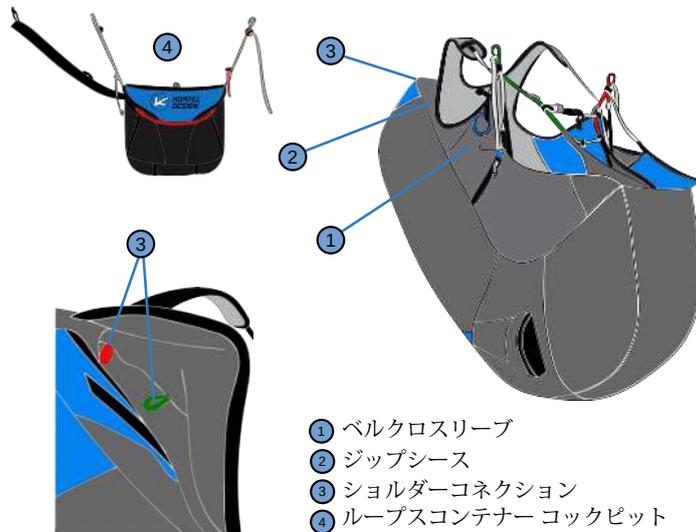
選択したベリー・コンテナの取り付け説明書を参照してください。

このシースは右側、メインアンカー・ポイントのすぐ下にあります。まずベルクロ、次にジッパーで上部を開き、肩の高さにある緊急用ライザーのアンカレッジポイントにアクセスできるようになっています。



年に一度は、パラシュートの取り付けをやり直し、パラシュートの全体的な状態（針、ゴム、ベルクロ、湿気の有無など）をチェックすることをお勧めします。

非常用ライザーの通路は、アクセル通路の外側になければなりません。取り付け時に必ず確認してください。



- ① ベルクロスリーブ
- ② ジッパーシース
- ③ ショルダーコネクション
- ④ ループコンテナ・コックピット

ハーネスの準備

リザーブパラシュートの取り付け

レスキュー・ライザーをショルダー・ループに接続する方法はさまざまです：



« Kite loop »



« Quick links »



リングの接続は、2つのループが互いの中心にしっかりと位置し、手で可能な限りきつく締められたとき、正しい接続とみなされます。2つのパーツの間に相対的な動きがあってはなりません。



« T-Bone Link »



« Soft-Link »



フレキシブル・コネクターは、幅25mm以上のストラップには使用しないでください。
クイックリンクについては、メーカーの推奨事項を参照してください。

コネクターを賢く選ぶことが重要です。ハーネスのコネクティングストラップやパラシュートのレスキューライザーに適合する寸法と形状でなければなりません。

ベントラルパラシュートのリザーブライザーもメインアンカレッジポイントに接続することができます。メインキャノピーコネクターとは別の接続システムを使用することをお勧めします。



レスキュー・リフト "リンクに使用されるコネクターには、最低2400daNの抵抗が必要です。ライザー安全ハーネス "リンクの場合：1200daN。

KUIK III：コクーンバージョン

コクーンバージョンでは、KUIK IIIは緊急用コンテナをコクーンに内蔵しています。このコンテナには2.6Lから5.3Lまでのレスキューパラシュートを収納することができます。最大許容量を超えるパラシュートを装着した場合、正しい展開が保証されません。

ライザー一体型のディレクトル・レスキュー・パラシュートを使用する場合は、これらのライザーを直接接続する必要があります。肩への取り付けは、上記の方法で行うことができます。メーカーの取り付けおよび使用上の注意を参照してください。



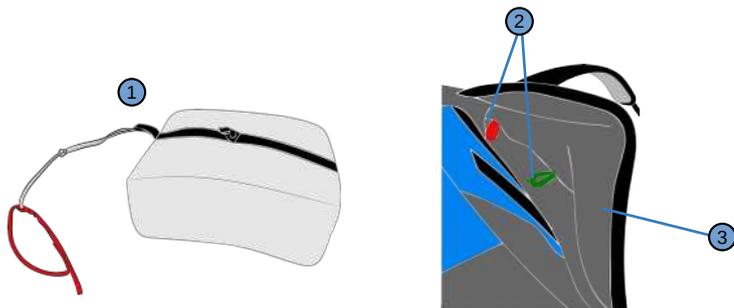
詳細情報はwww.korteldesign.com。

ハーネスの準備

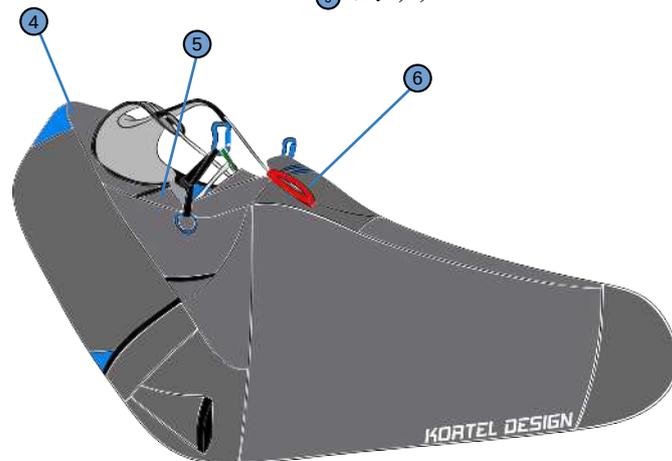
リザーブパラシュートの取り付け

ハーネスにコクーンが装備されている場合、コンテナへのレスキューパラシュートの取り付けは以下のように行ってください：

- 1 パラシュートとハンドルを接続します。
- 2 レスキューライザーをパラシュートに接続します（16ページ参照）。
- 3 レスキュー・ライザーをショルダーに接続します。
- 4 レスキュー・ライザーをガイド・チューブに挿入し、ジッパーでガイド・チューブを閉じます。



- ① 接続ハンドル-パラシュート
- ② ショルダー接続ポイント
- ③ クロージングジップ
- ④ ジップ付きガイドスリーブ
- ⑤ ベルクロガイドスリーブ 緊急時
- ⑥ コンテナ



ハーネスの準備

リザーブパラシュートの取り付け

5 パラシュートと残りのライザーをコンテナに入れます。パラシュートは、ハンドルとの接続部がハンドルの位置より下になるように、またハンドルにできるだけ近くなるように置きます（図面参照）。

6 ハンドルをハウジングに差し込みます。

7 容器の2本の針をレスキューハンドルの2つの穴に差し込みます。（ステップ1）

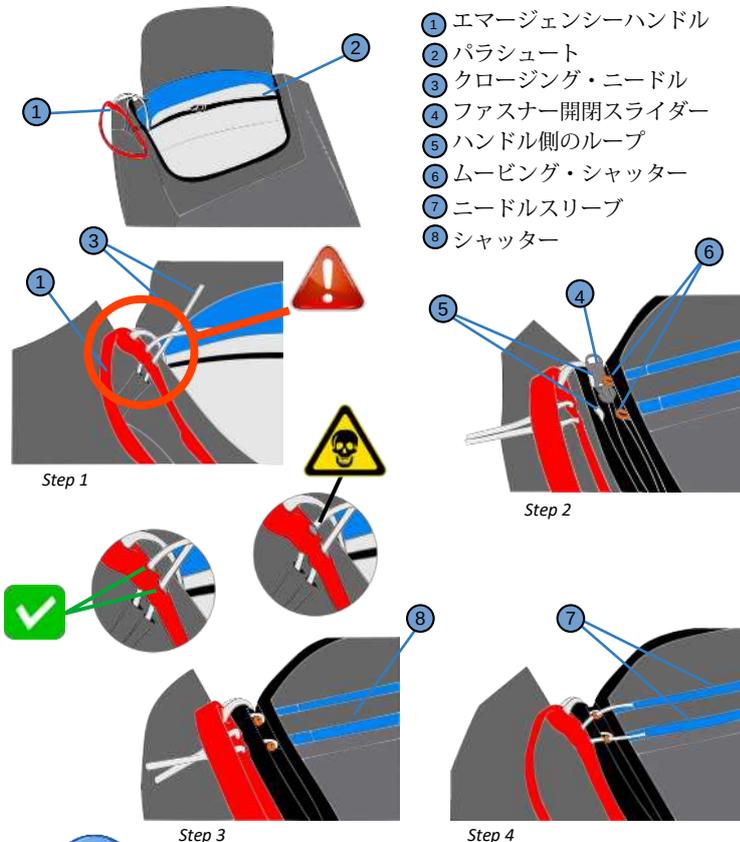
8 ジッパーを閉じます。（ステップ2）

9 ハンドル側にある2つのループを、容器の可動フラップにある2つのループに通します。この作業にはプラスチック棒の使用をお勧めします。（ステップ3）

10 ハンドルの2本の針をループに通し、容器の可動フラップにあるそれぞれのシースに挿入します。これでクロー징グジッパーを完全に閉じることができます。（ステップ4）



組み立ての最後には、組み立て用の道具（ロッドやハンガー）が残っていないか、入念にチェックする必要があります。ここでは、必要なときにパラシュートを取り出すことができません。



Step 3

Step 4

詳細情報はwww.korteldesign.com



ハーネスの準備

バックプロテクション

ハーネスにはエアバッグタイプのバックプロテクターが内蔵されています。このプロテクターは、テスト基準の要件に従ってラボで認定されています：

- CE - SP-004
- EN - Fpr EN 1651-2018
- LTF - 2. DV LuftGerPV §1, Nr. 7C

納品時には、背中用プロテクションはこれらすべての基準を満たしています。完全に膨らんだ状態で、最高のプロテクションを提供します。



エアバッグカバーを損傷する可能性のある鋭利なものや先の尖ったものに接触させないでください。

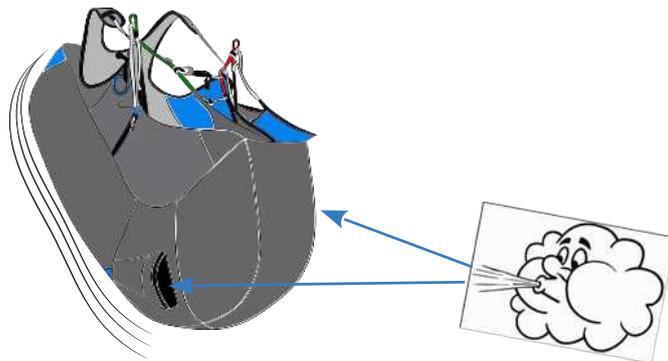
背中への保護は、（離陸前や着陸時に地面で）何度もこすれたり、紫外線による攻撃など、より陰湿な攻撃にもさらされません。エアバッグはリバーシブルバッグシステムに統合されているため、エアバッグを構成する包絡線はバッグと共通であることも考慮しなければなりません。したがって、バッグが攻撃を受けると、保護も同じようになります。そのため、バッグには特に注意が必要です。バッグへのあらゆる攻撃を制限するために、できるだけ早く保護カバーを使用することをお勧めします。



バックプロテクターの状態に疑問がある場合は、できるだけ早く販売店または弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。

エアバッグの操作と使い方:

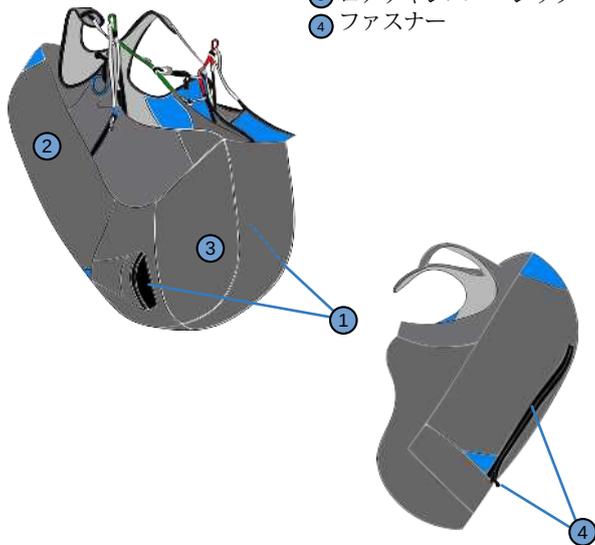
エアバッグは高膨張室と低膨張室の2つの膨張室で構成されています。飛行中、相対的な風の助けを借りて、空気は側面と前面のスクープに入り、下部チャンバーを満たします。下部チャンバーが満杯になると、空気は上部チャンバーに入り、順番に充填されます。



ハーネスの準備

バックプロテクション

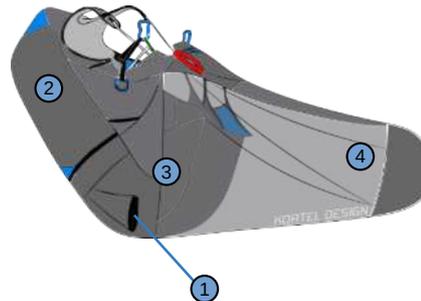
- ① サイドスクープ
- ② アッパーチャンバー
- ③ ロアチャンバー・ジップ
- ④ ファスナー



コクーンとの特異性：

コクーンを装着すると、フロントスクープが正しく機能しなくなります。そのため、内側のジッパーを閉めてロックする必要があります。

- ① サイドスクープ
- ② アッパーチャンバー
- ③ ロアチャンバー
- ④ コクーン



エアバッグ クロージャー ジッパーが適切にロックされていることが不可欠です。ロックされていないと、エアバッグの圧力を維持し、保護機能を果たすことができません。

テイクオフの準備

フライト前のチェックリスト

プレフライトチェックは離陸前の最後のステップです。離陸前にすべてのパラメータがグリーンであることを確認するため、この段階をおろそかにしてはなりません！以下の点を注意深くチェックしてください：

設備の状況：

ハーネスやグライダーに目に見える損傷がないこと。コネクターの状態と機能を確認してください。

バックプロテクション：

プロテクションは良好な状態、インフレーションスクープは作動可能、ジッパーは適切に閉じていること。

レスキューパラシュート：

テイクオフの前にフラップと針が所定の位置にあること、ハンドルが収納部に正しく取り付けられていることを確認してください。レスキューパラシュートを使用するには、赤いハンドルを掴んで引くと、容器のロックが解除され、レスキューパラシュートを取り出すことができます。

調整：

理論的には、あなたのセッティングは良いのですが... 友人にハーネスを試してもらったのですか？その際、特にバックサポートが元通りに設定されていることを確認してください。

スピードバー：

短すぎるスピードバーは、グライダーを永久に加速させ、フライトを非常に困難にする危険があります。着陸して問題を解決するか、空中でコードを切断するのが望ましいです（アクセス可能なラインカッターを使用）。レスキューライザーが横向きに誘導されている場合、アクセルコードが脱出の妨げにならないように注意してください。ハーネスを貸す場合は特に注意してください。

グライダーの準備：

グライダーは正しく広げられ、テイクオフを容易にするためにラインはよくほどけていなければなりません。

グライダーの接続：

グライダーをハーネスに接続し、ライザーにねじれがないことを確認し、コネクターが正しく閉じていることを確認してください。

気象条件の分析：

コンディションを正しく分析することは、安全なフライトのための大きな基準です。疑問があれば、ためらわずに専門家にご相談ください。



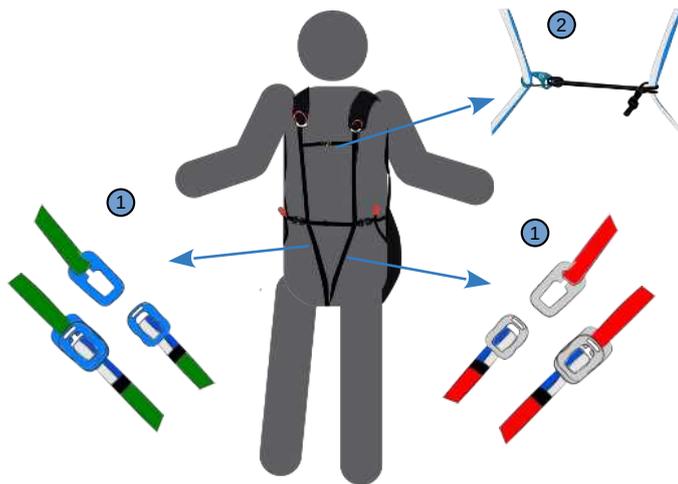
離陸チェックリストに少しでも疑問がある場合は、フライトをキャンセルし、問題があれば修正することが望ましいです。

テイクオフの準備

ハーネスの接続

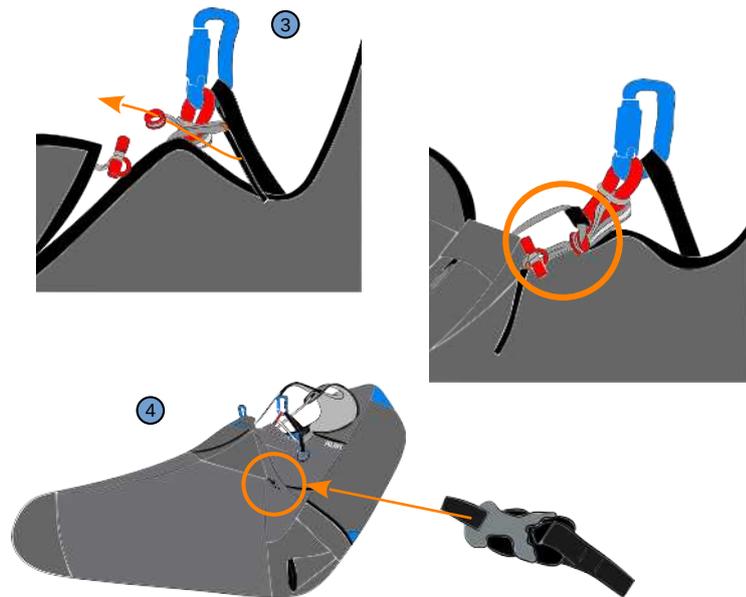
プリフライトが実施され確認されたら、いよいよハーネスに接続します：

- ストラップを使ってハーネスを装着します。①
- 左右の大腿ループを接続します。②
- チェストストラップの接続 ②



コクーンを取り付けた状態で、以下のようにインストールを完了する必要があります：

- 忘却防止システムでコクーンを閉じます。③
- サイドクリップでコクーンを閉じます ④



ハーネスの設定と同様に、パイロットのテイクオフのジェスチャーも、取り付けを容易にするために非常に重要です。
より詳細な情報はwww.korteldesign.com。



忘却防止システムがあるとはいえ、ハーネスの装着段階では特に注意が必要です。

安全な飛行 ...

テイクオフ

テイクオフの段階はフライトの重要な段階であり、残りのフライトを楽しむためには、完全に落ち着いて対処することが重要です。ハーネスにコクーンが装備されている場合は、以下のように対処することをお勧めします：

- チェストストラップにもたれて対気速度を上げる。
- 離陸後もこの姿勢を維持し、コクーンが開く様子を視覚化します。
- 右足はまっすぐのまま。
- 左足のかかとでコクーンをつかむ。
- 右足を完全に引き込み、後ろに振る。
- 左足をタックイン。

飛行中

各飛行段階には、それぞれ好みのポジションがある：サーマルや風景に近いトランジションでは、障害物を見やすくするために直立姿勢をとり、下からの情報を観察する。サーマルや天井に近いトランジションでは、空気に身を任せ、地面を忘れて雲を観察する。強いエアロロジーの場合は、脚を一緒に曲げ、太ももをメインストラップにくくりつけて腹筋と腰筋を使い、ローリングの動きを予測してコントロールする。

飛行効率を向上させるためには、影響を及ぼすあらゆるサポート（肩のかみ合わせ、腰の揺れ、脚の交差、平坦にターンするためのリバースロールの作成など）を検出するようにする。

スピードバーの使用

スピードバーの使用には力が必要であり、ハーネスの位置にも影響します。フライト中にハーネスを使用する前に、ガントリの下でテストを行うことをお勧めします。スピードバーを常時使用する必要のない風のコンディションでのみフライトしてください。最高速度に達するには、Aライザーの2つのプーリーが接触するまでスピードバーをしっかり押ししてください。スピードバーを使用すると、グライダーの迎え角が減少し、スピードが上がります。グライダーは安定しなくなり、潰れやすくなります。したがって、スピードシステムは常に地上から十分な高度をとり、障害物や他の航空機から十分な距離をとって使用してください。加速度的な潰れはしばしばより激しく、より素早い反応を必要とします。



パイロットはそれぞれ、効果的であるための感情や行動を持っています。好奇心を持ち、大胆に！

安全な飛行 ...

リザーブパラシュートの使用



リザーブパラシュートの使用は、取るに足らない行為ではありません。安全な環境で、専門家に囲まれて、飛行事故シミュレーションコースで少なくとも一度は練習することをお勧めします。

様々な理由により、リザーブパラシュートを使用する必要がある場合があります。

そのような場合は、次のように行動することをお勧めします：

- 1 レスキューハンドルを見つけ、片手でしっかりとつかみます。
- 2 ハンドルを強く引いてコンテナのロックピンを外し、レスキューパラシュートの入ったポッドを外します。
- 3 ポッドとハンドルをハーネスから離れるようにできるだけ強く投げ、レスキューパラシュートのラインが伸びて開口部ができるようにします。
- 4 不本意な影響を避けるため、キャノピーをニュートラルにし、BラインまたはCラインをしっかりと引っ張って、キャノピーをボール状に手前に戻します。極端な場合は、ラインカッターでライザーの全部または一部を切断してください。
- 5 可能な限り直立姿勢をとり、ロールアップ（スカイダイビングテクニック）で衝撃を和らげる準備をしてください。

強風下での着陸の場合

強風の場合、リザーブパラシュートでの着陸はパイロットを数メートル引きずる可能性があります。地上に降りたらできるだけ早くバックルを外すことができるよう、あらかじめ最大限のバックルを外しておくことをお勧めします。必要であれば、遠慮なくラインカッターを使って自由にしてください。

着水した場合

レスキューパラシュートの軌跡が水域（海、湖、川など）を通過する場合、水域に到達する前に、ラインカッターを使って、できるだけ多くのバックル（胸部、臍、前部）を外すことをお勧めします。こうすることで、ハーネスから降りて水に飛び込むことができ、ラインが絡まるリスクを減らすことができます。水中に入ったら、キャノピーやラインからできるだけ離れてください。

木に着地した場合：

木の高いところで身動きが取れなくなった場合は、救助を待つ間、身の安全を確保することをお勧めします。墜落の危険性を回避し、救助隊の作業を容易にするために必要な装備（ロープ、カラビナ）を含むキットが用意されています。また、キットの中には、怪我に備えた救急箱が含まれているものもあります。一般的に、自力での下山はお勧めできません。



パイロットのポジションに慣れ、必要に応じてこのジェスチャーを本能的なものにするため、フライトのたびに「コントロールハンドル」を行うことをお勧めします。

安全な飛行 ...

ランディング

フライトの中で最もデリケートな状況...。
疲労、脱水、下肢の固有感覚喪失、人生で最も美しいフライトの幸福感、これらすべてが必然的にあなたの警戒心に影響を与えます！

集中力を高め、環境を分析し、もちろんハーネスから降りて足の可動性を取り戻すことも忘れずに！
コケーン（繭）を使って、かかとを内側に保ったまま最初の足を出し、2番目の足を無理なく出せるようにします。
フライトが長くて寒かった場合、足首と膝を再び動かすのは贅沢なことではありません。
背中での保護ではなく、足で勾配の影響を和らげる準備をしてください！

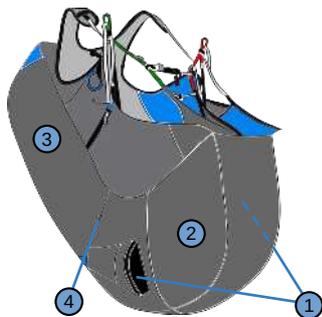


使用上の制限

タンデム練習

このハーネスはタンデムパイロット用ではありません。また、適切なりザーブパラシュートを装備することもできません。また、適切な予備パラシュートを携行することもできません。事故が発生した場合、メーカーは責任を負いかねます。エアバッグの作動に注意しながら、パッセンジャーハーネスとして使用することは可能です。衝撃時に下部チャンバーが正しく作動するように、上部チャンバーを中央のパーティションの高さでロックする必要があります。そのためには、エアバッグの内側にポケットを「ロール」してロックしてください。

- 1 インフレーションスクープ
- 2 ロアチャンバー
- 3 アッパーチャンバー
- 4 ミドルパーティション



ウインチ離陸の練習

すべてのハーネスはウインチ対応です。ウインチとハーネスを接続するためのループは特にありません。ただし、ハーネスのアンカレッジポイントに接続部を追加し、そこにリリースシステムを取り付けることはお勧めしません。ライザーに直接接続できるシステムを使用することをお勧めします。推奨モデルについては、国内連盟の推奨を参照してください。

FFVL推奨モデル (リンクをクリック)

学校での練習

このハーネスを学校でのレッスンに使用することは可能です。

アクロバットの練習

フリースタイルフライトは可能ですが、このハーネスはエアロパティックフライトのために設計されたものではありません。このハーネスはその構造上、適していません。ハーネスの使用は個人の責任において行ってください。万が一事故が発生した場合、メーカーは責任を負いかねます。

メンテナンス、お手入れと修理

一般的なケア：

少なくとも2年に1度は、ハーネスの完全な目視点検をお勧めします。年に1度の点検が望ましいです。
リザーブパラシュートについては、メーカーの推奨事項を参照してください。一般的には、年に1~2回、換気と折りたたみを行うことをお勧めします。
最低限、年に2回はレスキューコンテナが正常に作動していることを確認するため、ガントリークレーンを使って取り出しテストを行うことをお勧めします。

修理：

磨耗や破損、縫い目の破損、素材に問題がある場合は、ハーネスのモデル、シリアル番号、問題の内容、状況を明記の上、弊社 (sav@korteldesign.com) までご連絡ください。問題の原因を特定し、シリーズ内の他のハーネスを調査するために、数枚の写真を添付してください。
法律で定められた2年間の保証期間を過ぎた場合、製造上または設計上の真正な欠陥であることが証明された修理に限り、無料で保険を提供させていただきます。

製造上の欠陥、消耗品、シリアル番号：

方が一、磨耗、縫い目の破損、素材の不具合が生じた場合は、ハーネスのモデル、シリアル番号、不具合の内容、状況を明記の上、写真を数枚添付して弊社 (sav@korteldesign.com) までご連絡ください。

法律で定められた2年間の保証期間を超えた場合、製造上または設計上の欠陥であることが証明された修理に限り、無料で保険を提供いたします。

改訂：

ハーネスの経年劣化に関連する事故はほとんどありませんが、重要なポイントが良好な状態に保たれているかどうかをチェックすることは重要です。紫外線、湿度、摩耗は使用する素材を変えます。
素材の欠陥による早期の経年劣化を免れることはできません。特に木や岩に着地した場合、あるいは消防隊が介入した場合など、使用状況に応じて2年ごとにハーネスの目視点検を受けることをお勧めします。初期点検を実施できる販売店にお問い合わせいただくか、sav@korteldesign.com までご連絡ください。



少なくとも2年にx度は、ハーネスの完全な目視点検をお勧めします。年x回の点検が望ましいです。



メンテナンス、お手入れと修理

ストレージ:

理想的な保管場所は、光の当たらない乾燥した温度の低い場所です。バックプロテクターを圧縮しないでください。ハーネスのフォームやプレートを含む部分を折り曲げないように注意してください。

洗濯:

ハーネスは真水と中性石鹼で洗い、乾燥した風通しの良い場所で乾かしてください。可能であれば、バックプロテクター（フォーム）を取り外してください。タンブラー乾燥機は使用しないでください。すすぎは丁寧に行い、乾燥した場所で日光を避けて乾かしてください。
着水した場合

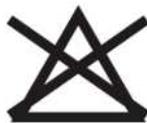
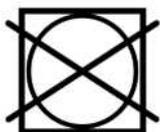
- 海水の場合：ハーネスを真水ですすいだから、上記の手順に従ってください。

- 真水の場合は、洗浄手順に従ってください。

環境に配慮した廃棄:

使用期間終了後は、環境に配慮した廃棄をお願いします。

異なる要素（布地、プラスチック、金属など）を分別し、その分類に従ってリサイクルに出すことをお勧めします。コルテルデザインに製品をご返却いただければ、正しい処分をさせていただきます。



Contrôle / Inspection
2 ans / years

注意事項

このハーネスはFpr EN 1651-2018 & LTF 2テストに適合するバックプロテクションを備えています。DV LuftGerPV §1、Nr.7cは、CRITT SLのプロトコルSP-004と同様に、リザーブパラシュートの下で5m/sで地上に到着することに対応しています。

バックプロテクションは、他の地上到着形態ではテストされていません。

規則 (EU) 216-425 (EU 適合宣言書は www.korteldesign.com から入手可能)

注意事項：

- どのプロテクターも怪我を完全に防ぐことはできず、特に背中プロテクターは脊椎の怪我を防ぐことはできません。
- プロテクターで覆われた部分のみが衝撃から保護されます。
- 改造や誤った使用は、バックプロテクターの性能を危険なほど低下させます。
- 取り外し可能なプロテクターの場合、プロテクターがあるときのみ保護されます。
- 装置の寿命は最大10年です。激しい衝撃を受けた場合は、デバイスの完全性を確認し、疑わしい場合は遠慮なくメーカーにお問い合わせください。
- 本装置は-20℃以下または40℃以上で使用しないでください。

届出機関：

ALIENOR CERTIFICATION n°2754
Z.A. du Sanital, 21 Rue Albert Einstein - 86100 Châtellerault - France



保証

すべてのハーネスには2年間の法定保証期間が適用されます。

不具合を発見された場合は、アフターサービス (sav@korteldesign.com)までご連絡ください。その際、不具合の内容や可能であれば写真も添付してください。状況を迅速に分析し、今後の対応についてアドバイスさせていただきます。

この法定2年保証期間を超えた場合は、製造上または設計上の真正な欠陥であることが証明された場合に限り、無償修理を行います。

ハーネスの寿命は使用頻度や使用方法によって異なります。機械的なストレスや摩擦は、ハーネスの特性を徐々に劣化させます。また、紫外線や湿気も経年劣化を早める原因となります。

通常の使用期間：10年

注意 この使用期間は目安です。ハーネスは初めて使用された時点で廃棄される可能性があります。年2回の点検で、より早く廃棄しなければならないかどうかを判断します。その間すべての用途において、適切な保管が不可欠です。使用期間は10年を超えないようにしてください。



テクニカルデータ

	S	M	L	XL
ハーネス重量 (kg)	3,00	3,20	3,35	3,50
コクーン重量(kg)	1,10	1,20	1,30	1,40
コクーン付き総重量 (kg)	4,10	4,40	4,65	4,90
認証	EN 1651-2018 / LTF / CE			
最大飛行重量 (kg)	120			

素材：

生地：

210 D Dobby Polyester / 100D Robic Nylon-Polyester / 70 D Rip stop / Venus (Payen)

ウェビング/ロープ：

25mm Dyneema-Polyester / Nylon 10-15-20mm / Spectra 2mm

その他：

Nitinol thread / Components Aluminium

バックル：

Buckles Kortel Imbrik
Carabiner Zicral Kortel
Tension lock Edelrid
Plastic buckles Dura"lex
Pulleys
Magnetic snap lock medium Fidlock



サイズ・ガイド

自分の体型に合ったサイズのハーネスを選ぶことが大切です：

- さまざまな機能を最大限に活用
- 最高の快適さを得るために
- ハーネスと一体化し、グライダーの操縦を最適化します

	150	155	160	165	170	175	180	185	190	195	200
50	S	S	S								
55	S	S	S	S							
60	S	S	S	S	S						
65	S	S	S	S	M	M					
70	S	S	S	M	M	M	M				
75		S	M	M	M	M	M	M			
80		M	M	M	M	M	M	L	L		
85			M	M	M	M	L	L	L	L	
90				M	M	L	L	L	L	L	XL
95					L	L	L	L	L	XL	XL
100						L	L	L	XL	XL	XL
105							L	XL	XL	XL	XL
110								XL	XL	XL	XL



この表は、お客様の身長と体重に理論的に対応するハーネスのサイズを示したのですが、試乗も可能な販売店のアドバイスに代わるものではありません。(リストはwww.korteldesign.com)

追加情報

当社のウェブサイトでは、写真、説明ビデオ、...などの追加情報をご覧ください。
ご不明な点がございましたら、ウェブサイトをご覧くださいか、下記までお問い合わせください：

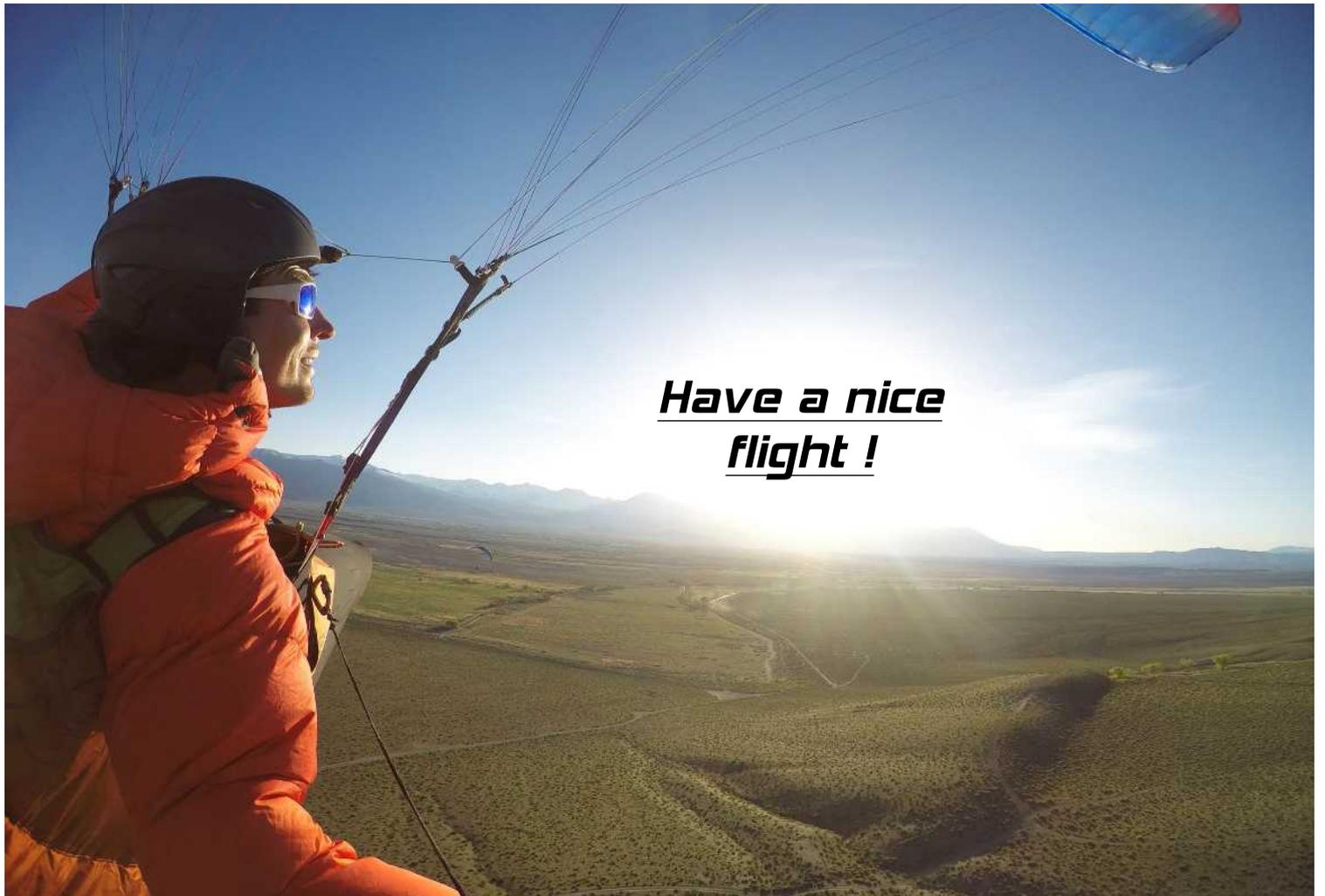
Kortel Design
1096 Avenue André Lasquin - 74700 Sallanches - FRANCE
Tel +33 (0)9 50 10 73 27 - info@ kortel design.com – www.kortel design.com

Carnet d'entretien / Service book



<i>Date</i>	<i>Signature</i>	<i>Remarques / Notes</i>
__ / __ / ____		
__ / __ / ____		
__ / __ / ____		
__ / __ / ____		

N° série / Serial Numb. _____ *Taille / Size* _____



Have a nice
flight !



KORTEL
DESIGN